

鎌倉市の地域スポーツの 振興策を考える

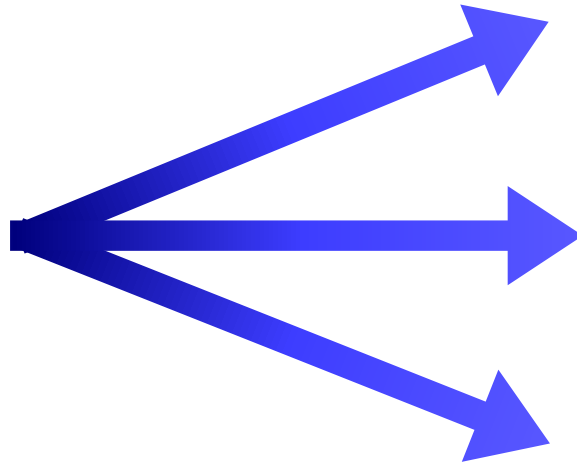
～深沢地域整備事業をコンセプトにして～

神奈川大学 大竹ゼミナール チームS

○長沼 輝知 赤尾 優奈 金崎 実子
三枝 万梨恵 矢島 翼 森川 知生

研究の主旨

スポーツ振興



競技レベルの向上



施設建設



地域スポーツ振興



市町村レベルでの課題を解決する

なぜ今地域スポーツ振興なのか

2020年 東京オリ・パラの開催

注力

大規模スポーツ施設建設



競技者育成



スポーツ振興の基本

総合型地域スポーツクラブ

指導者育成

地域レベルでの
スポーツに課題

スポーツ振興の基本（2）

2011年 スポーツ基本法

いつでも

どこでも

誰もが

身近な場所で

生涯スポーツ

コンセプト







地域スポーツの枠を、市町村レベルで捉える

神奈川県
神奈川県

事業に着目

契機として新たな
地域スポーツ振興を

研究の流れ

- 
 ・ 深沢地域整備事業計画調査
 （拠点整備部深沢地域整備課ヒアリング調査）
- 
 ・ 鎌倉市スポーツ振興基本計画調査（文献調査）
- 
 ・ 鎌倉市市民活動部スポーツ課ヒアリング調査
- 
 ・ 行われている事業の分析
- 
 ・ 課題の明確化
- 
 ・ 身近にスポーツが行える仕組みを提言

深沢地域整備事業

JR大船工場跡地を含めた約31hの空き地
湘南モノレール線 湘南深沢駅前



街づくりのコンセプト
「ウェルネス」



再開発

深沢地域整備事業

☆スポーツに関する区域は**約6分の1**



観戦席を設けた総合体育館と屋内プールを建設予定

旧JR大船工場跡地

鎌倉駅周辺、大船駅周辺に次ぐ
鎌倉市第3の拠点へ

鎌倉市の計画

「Enjoy “鎌倉” スポーツライフ」

市民の運動実施率 **60%**
を目指す！

ヒアリング調査 鎌倉市スポーツ課

施策

①

身近な場所でスポーツ参加の
きっかけづくりを充実させる



プログラム内容・日時を選択で
きるイベントの開催

スポーツ課

⑦ 平成29年度 生涯スポーツリーダー養成教室

開催日 6月17日～7月22日、9月9日～10月14日 11回

時間 9:15～10:50

但し、普通救命講習や水泳などは、実施時間が異なります。

対象 市内在住、市内在勤、市内在学、その他
(20歳以上で運動・スポーツ経験3年以上ある人)

定員 20名

参加費 無料

主催者名 **スポーツ課**

開催場所 鎌倉武道館 ほか

申込方法 はがき 催し名、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、
その他(運動経験または、指導経験)を記入 6月7日必着

連絡先 スポーツ課 〒247-0066 鎌倉市山崎616-6
TEL 0467-43-3419



しかし、市民は・・・

教室・イベント情報を
把握していない

時間がない

34%

教室・イベントの情報が分からない

36%

ヒアリング調査 鎌倉市スポーツ課

施策 ②



障害者スポーツのニーズ把握に努め、
イベントの開催に取り組む



施設のバリアフリー化と普及・
啓発イベントや体験会を開催

スポーツ課

⑧ こもれび山崎温水プール市民講座 (肢体不自由者水泳)

開催日	平成28年11月10日(木)～平成29年1月5日(木) 11/10・17・24、12/1・8・15・22、1/5で全8回		
時間	14:00～14:45		
対象	市内在住・在勤・在学の方		
定員	5名		
参加費	4,120円		
主催者名	こもれび山崎温水プール		
講師	天野 慶典		
開催場所	こもれび山崎温水プール		
申込方法	催し名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、往復はがきで 下記へお申込ください。(抽選)		
申込締切	平成28年10月13日(木) 必着		
申込先	こもれび山崎温水プール 〒247-0066 鎌倉市山崎1330-39 TEL.0467-46-0505		

ヒアリング調査 鎌倉市スポーツ課

施策 ③

- スポーツ施設の開場時間の延長
- 学校施設開放の利用の拡大
- あらゆる市民がスポーツに取り組みやすい環境を整備



- 拠点体育館や、ナイター設備を備えた小中学校の夜間利用拡大
- 学校施設開放は防犯上、登録された団体のみ利用

スポーツ課

鎌倉体育館 利用時間

曜日		時間	競技場	格技室	卓球場	
第1	土曜日	9時～11時	球技系スポーツ			
		11時～13時				
		13時～15時				
		15時～17時				
日曜日	日曜日	9時～11時			卓球	
		11時～13時				
		13時～15時				
		15時～17時				
第3	土曜日	9時～11時	球技系スポーツ			
		11時～13時				
		13時～15時	バドミントン			
		15時～17時				
	日曜日	日曜日	9時～11時			球技系スポーツ
			11時～13時			
			13時～15時			バドミントン
			15時～17時			

個人利用は
土日のみ

ヒアリング調査 鎌倉市スポーツ課

施策

④

スポーツイベント・教室の開催情報を身近な場所で入手可能にする



広報誌等の紙媒体とHP等の電子媒体で情報を提供している

スポーツ課

情報の提供



電子媒体



紙媒体

ヒアリング調査 鎌倉市スポーツ課

施策 ⑤

総合型地域スポーツクラブの設立に向けて住民へのPRや研修等を開催



- 既存クラブはサッカーのみの1団体
- 新たなクラブ設置の予定なし

スポーツ課

課題点

課題

①

スポーツに取り組みやすい
環境の提供ができていない

あらゆる市民に対し
スポーツの機会が
十分に与えられていない

課題点

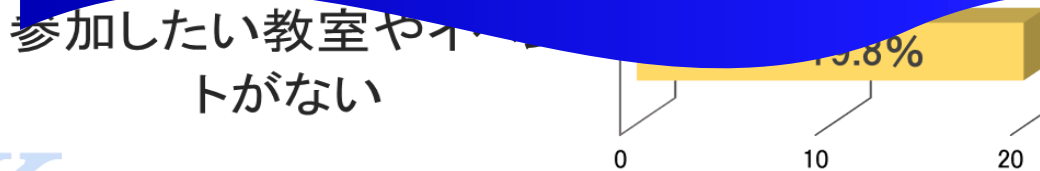
課題

②

スポーツ未実施者や積極的でない人々への
情報提供が不十分

参加しない理
実施者や積

スポーツ課職員
の方も問題視



課題点

課題

③

総合型地域スポーツクラブの
役割が果たせてない

多世代・多種目に
わたる活動がない

している団体は単一種目のみ

政策提言

ゾーニングをコンセプトに…

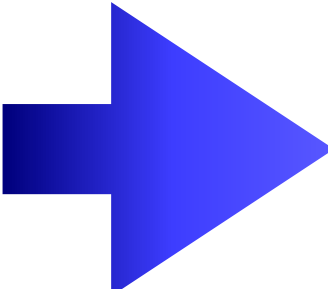
市民の運動実施率 **60%**

総合型地域スポーツクラブを用いた
スポーツ振興の仕組み作り

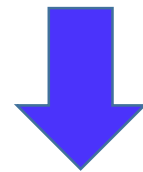
コンセプト：「ゾーニング」



中学校を中心に各学区ごとに
9つの地区にゾーニング

 より身近な距離・場所で
スポーツに親しむこと
が可能に！！

鎌くらび推進本部

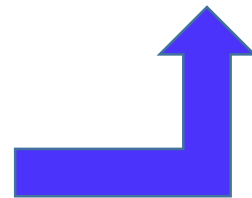


支援・調整

鎌くらび



市民



参加

それぞれの役割

- 人材育成
- 施設整備・調整
- ネットワーク構築
- 交流大会の開催
- 情報の一元管理

鎌くらぶ推進本部

- 会員制度の整備
- プログラム提供
- 部活動を包含

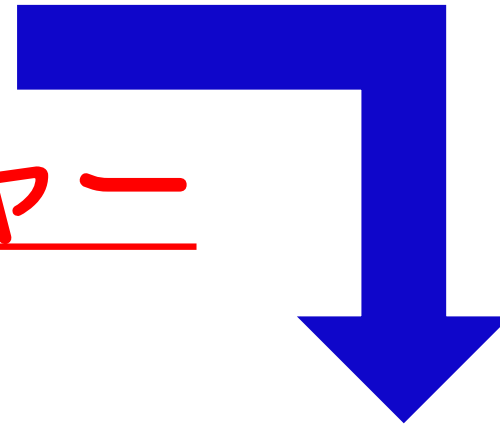
各地区鎌くらぶ

鎌くららぶ推進本部の役割

① 2種類の人材育成

クラブマネージャー

実技指導者



支援

日本体育協会での
資格取得

鎌くらぶ推進本部

支援

スポーツ推進委員を候補

日本体育協会での資格取得

- ①クラブマネジャー
- ②アシスタントマネジャー
- ③各種実技指導資格

取得後

鎌くらぶ推進本部

鎌倉市独自の講習会受講の義務付け

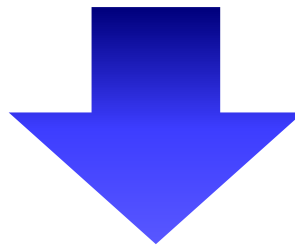
鎌くららび推進本部の役割

②施設の整備・調整

鎌くららび推進本部



深沢地区



施設整備・調整



鎌くららび推進本部の役割

③ネットワーク構築

各地区の鎌くららび

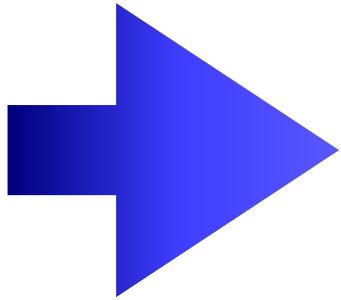
深沢の総合体育館で

深サミットの開催

鎌くらぶ推進本部の役割

鎌くらぶの横のつながり形成

- 問題が起きた際の協力
- 運営や指導方法等の情報共有



鎌くらぶ推進本部の役割

④ 深沢での交流大会の開催

Kamalymphic



鎌くらぶ推進本部の役割

⑤情報の一元管理

フォーマットを作成し情報収集

10月第1週活動予定表		地区名		
日時	内容	A地区	場所	備考
1日(日)				
2日(月)				
3日(火)				
⋮				
⋮				
⋮				

鎌くらぶ推進本部の役割

情報提供の仕組み

- 市民のためのウェブサイト作成

- SNSを利用した情報の発信

- 市内ローカル線の中吊り広告



各地区鎌くらび

中学校区

小学校

中学校
(事務局)

小学校

参加

参加

参加



市民

各地区鎌くらぶの役割

①

会員制度

②

プログラム提供

③

部活動を包含

各地区“鎌くらぶ”の役割

1. 会員制度

① クラブ会員

定期的な活動に参加

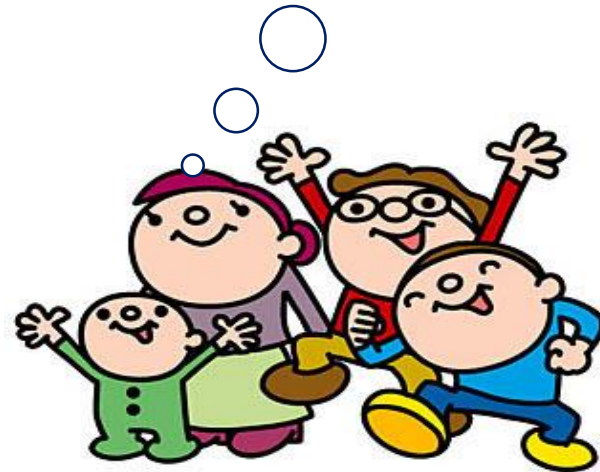
② サークル会員

単発的な活動に参加



気軽にスポーツできる環境ができ

運動実施率の増加につながる



各地区“鎌くらび”の役割

2.プログラムの提供



クラブマネージャー・実技指導員

市民の声・ニーズ

各“鎌くらび”独自の
スポーツプログラムを企画・実施

運動実施率の増加

3.部活動を包含した活動

鎌くらぶ×部活動



各地区“鎌くらぶ”の役割

3.部活動を包含した活動

“鎌くらぶ” × 部活動



- 小中学校の体育施設を使用
- 大人と子供が相互に教えあう環境

- 地域コミュニティの形成
- 指導の経験ができる成長の場
- 指導者不足の解決
- 教員の負担軽減

まとめ

今までは…

行政

拠点体育館

一部の市民



一部の市民

自主的な活動
Ex) チーム・部活動



司令塔 “鎌くらぶ推進本部” 深沢地域

市を9つにゾーニング

各鎌くらぶの自主的な運営

中学校 中学校 中学校 中学校 中学校 中学校 中学校
小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小

市民へ

あらゆる市民が身近に スポーツできる環境が実現

鎌倉市の目標

運動実施率 **60%** 達成！

全国の地域スポーツ振興のモデルに



参考文献

- 鎌倉市（2014）『鎌倉市スポーツ振興基本計画改定版』
- 鎌倉市（2016）『深沢地域整備事業の土地修正利用計画』
- 中村祐司（2002）『スポーツ行政をめぐる政策ネットワークの研究』 Waseda University p.159-161